

10/14 保健・医療・福祉グループ 質疑応答要旨

■役場庁舎の整備について

意見・質問等	回答等
<p>◎まちづくり町民委員会、議会の特別委員会、職員での検討委員会での会議の内容は。</p>	<p>① 町民委員会 1月から3月までに3回実施。 【主な意見】 ・改修しても15年しかもたないのであれば建て替えたほうがいい ・今後他の公共施設も老朽化してくるので、複合化は必要 ・保健センターと子育て支援センターが一緒になるのは、こども園における「医療的ケア児」の受け入れのためのスペース確保という意味で良い。また支援センターに来る子どもたちも保健師と一緒にいるということは、相談窓口も増えるということなので良い ・バリアフリーとエレベーターはお願いしたい</p> <p>② 役場庁舎に関する調査特別委員会 4月から7月までに3回実施。</p> <p>③ 役場庁舎整備検討委員会 昨年11月から現在まで9回実施。</p>
<p>◎総体的な予算（国、道からの交付金）は。</p>	<p>総事業費19億8,000万円で、うち建築工事16億5,000万円です。</p>
<p>◎予定設計図を提出していただきたい。</p>	<p>現在、設計図は完成していませんが、本日配布の資料に平面図案を添付しています。今後は、この平面図案を基に様々な意見を集約し、設計図を作成していきます。</p>
<p>◎併設する保健センターに調理実習室も検討されているが、町民も活動の場所として使用できますか。</p>	<p>各保健事業や子育て支援事業での使用が主となりますが、稼働がない日については、食生活改善等の健康増進の役割を担う団体にも、必要時に活用いただける仕組みを検討します。</p>

<p>◎新庁舎図面案に教育委員会が入っていない。</p> <p>◎公民館も建築後、かなり経過している。耐震性とか心配である。</p>	<p>現在、教育委員会は、役場と公民館と分かれて業務を行っていますが、同じ場所の方が円滑に業務遂行できること。また、公民館施設の管理が必要なことから、教育委員会は公民館の中で一体的に業務を行う予定です。</p> <p>公民館の改修については、応急的な対応を除き、次期まちづくり計画で検討していきます。</p>
<p>◎昭和 56 年災の時には 400 ミリの雨が降り、洪水となった。昨今の異常気象では 700～800 mm/日降ることも考えられ、石狩川が氾濫した場合、新庁舎建築予定地である今の役場がある場所で大丈夫か？</p>	<p>建築予定地は氾濫した場合、ハザードマップでは 3 m 以内の浸水地域となり、役場の敷地は 0.5 m ぐらいと想定されています。対策として、60 c m 土盛りを行い、災害時役場機能が落ちないようにコンピュータサーバーや非常用発電機等、重要な設備は 2 階に配置し、浸水から守る設計としています。</p>
<p>◎新庁舎ランニングコスト削減策等について</p> <p>①コスト低減策として、地熱、太陽熱の利用を考えては。導入によりロードヒーティングとかにすれば、除雪をしなくてもよい。</p> <p>②コロナ禍で、都市機能分散という議論がある。そのなかで、庁舎の機能にそういうのを取り入れるという視点を入れては。</p> <p>③施設の複合化に銀行やコンビニ、マンションなどの民間施設を入れることで、維持コストの低減につながるのでは。</p>	<p>ランニングコストの低減策について、議論の中で、こういったものが実状にあってるか考えて行きます。</p>
<p>◎本町は独居高齢者が多い。亡くなった時、手続きをする人から窓口が変わりわかりづらいという話を聞く。窓口一元化のスペースが必要では。</p>	<p>基本的にはワンフロアサービスと考えていますが、高齢者や体の不自由な人の支援のためには必要なワンストップの体制も引き続き検討します。</p>
<p>◎庁舎建て替え後、現在の加工実習室、土壌分析室は、どうなるのか？</p>	<p>両施設とも農協の既存施設や空室を活用できないか協議をしています。</p>

<p>◎高齢化で耳の遠い人が増えている。補聴器では議会傍聴や会議等で雑音が入ることから対策として磁気ループ（聴覚障がい者用の補聴器を補助する放送設備）の設置等ができないか。</p>	<p>新庁舎への設置について検討を進めますが、早急な対応として新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、移動可能な簡易的な磁気ループを導入する予定です。</p>
<p>◎議場として使用しないときは多目的ホールとしての利用を考えているようだが、セパレートでの使用は可能なのか。また、交流できる場所が1か所しかないのか。使用時間帯、夜使用時の管理、車椅子利用者への対応についてお伺いしたい。</p>	<p>可動式のパーテーションを使用し、セパレートでの利用は可能です。エレベーターにより車椅子での移動も容易となっています。</p> <p>多目的ホールとしての利用については、地区の行事ではなく、今、役場が開催する会議の利用を想定しています。</p>

■町立病院の経営状況について

意見・質問等	回答等
<p>◎病院アンケート結果はどのようなものだったか。</p>	<p>アンケート全体としては、行動範囲の広い若い年代の方は、入院・外来とも自らの選択で近隣も含めた病院を利用している実態であり、交通手段が限られる高齢の人ほど近くにある医療機関を選択しています。</p> <p>今後の病院のあり方については、「経営の効率化を図る必要はあるが、一定程度の医療機能を有した病院の存続を望む」という意見が多かったという結果になっています。</p>
<p>◎今後、庁舎の建設が始まると、その償還に年間4,400万程度の負担が出てくる。庁舎と病院合わせて年間3億位かかる計算だが、財政調整基金が2億位しかなく、今後どのような財政運営を考えているのか。</p>	<p>庁舎建設は国からの財政支援の関係上今取り組んでいかなければならない課題と考えています。一方で病院はかつて6億ぐらい繰越収支があったが今現在赤字となっている状況です。現在、検討を進めているあり方検討委員会で近隣の医療施設との連携や効率の良い医療提供について議論していき、やれることからやっていくので、皆さんにも関心を持っていただきたいと思えます。</p>
<p>◎サ高住開設による収支の影響は。</p>	<p>3階が病棟時代は、年間4,000万程度の赤字でした。現在、入居費だけで運営はできていませんが、入居費の減免により国の補助金などで1,200万円程度町の一般会計から繰り入れしています。</p>
<p>◎あり方検討委員会での医者からの意見についてお伺いしたい。</p>	<p>あり方検討会にあたり病院の経営状況を事前にお伝えし、その段階での医師の意見を聞いております。現在、あり方検討会は4回のうち3回まで終了。ある程度状況が見えてきているので、今後、次のあり方検討委員会まで職員や医師の意見を聴取していきます。</p>